

医療情報の研究利用について

研究の課題名	当院における自己免疫性多内分泌症候群の実態調査
研究の責任者(当院)	消化器内科 医長 櫻田 晃
研究の対象者	当院へ通院中の自己免疫性甲状腺疾患患者
研究の目的	自己免疫性胃炎は胃癌・胃内分泌腫瘍の高リスク群である。自己免疫性甲状腺疾患を合併することが多く自己免疫性多内分泌腺症候群(autoimmune polyendocrine syndrome; APS) 3B型として知られている。当院へ通院中の自己免疫性甲状腺疾患患者について上部消化管内視鏡検査並びに組織検査、胃自己抗体検査により自己免疫性胃炎を早期発見することで、胃発癌高リスク群の囲い込みや治療適応例への早期の介入を行うことができると考える。
調査対象データ該当期間	2022年4月1日～2025年3月31日
研究の方法 (使用する情報・試料)	基本情報: 生年月日、年齢、性別、既往歴、合併症、常用薬、甲状腺疾患名、個人識別符号 画像診断: 上部消化管内視鏡検査 臨床検査: 血液学的検査(Hb・MCV・網赤血球) 血液生化学検査(ガストリン・ペプシノゲン・ビタミンB12・葉酸・TSH・FT3・FT4・抗TG抗体・抗TPO抗体・TSA・TRAb、サイログロブリン)、抗壁細胞抗体・抗内因子抗体、ピロリ感染症検査(尿素呼気検査・血中抗体・尿中抗体・便中抗原・核酸検査)、抗病理学的検査(組織診)
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	代表電話: 0134-24-0325 倫理委員会事務局
備考	研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利益な取扱いを受けることはありません。 個人の情報として今までの検査結果を開示することは可能です。請求人は原則的に協力者本人とし、本人以外からの請求の場合本人直筆の委任状が必要になります。開示を希望する場合、上記の問合せ先までご連絡ください。

